

令和7年3月定例会

一般質問要旨

(令和7年3月3日・4日)

(質問順序)

- | | | | | |
|----|-----|-----|----|---------|
| 1 | 花田 | 強 | 議員 | (市民の風) |
| 2 | 石垣 | 博隆 | 議員 | (真政会) |
| 3 | 田中 | 耕太郎 | 議員 | (令和会) |
| 4 | 秋元 | 貞一 | 議員 | (令和会) |
| 5 | 田村 | 儀光 | 議員 | (真政会) |
| 6 | 工藤 | 賢一 | 議員 | (市民の風) |
| 7 | 伊藤 | 深雪 | 議員 | (公明党) |
| 8 | 吉田 | 勇一郎 | 議員 | (令和会) |
| 9 | 相馬 | エミ子 | 議員 | (市民の風) |
| 10 | 明石 | 宏康 | 議員 | (真政会) |
| 11 | 佐々木 | 公司 | 議員 | (令和会) |
| 12 | 今泉 | まき子 | 議員 | (日本共産党) |
| 13 | 金谷 | 真弓 | 議員 | (真政会) |
| 14 | 伊藤 | 励 | 議員 | (市民の風) |

大館市議会

○ 花 田 強 議員（市民の風）

1．除雪体制について

- ・ 有事の際には、幹線道路の除雪は大型ローダーを所有する業者を優先させ、住宅地や歩道などは個人で持っている小型ローダーや小型除雪機を活用するなど、除雪体制の構築をすべきと思うが、市長の考えは

2．テレビ回覧板の活用について

- ・ テレビ回覧板はインターネットやスマホを持っていなくても誰でも簡単に閲覧できる有効な手段と考えるが、市長の考えは

○ 石 垣 博 隆 議員（真 政 会）

1．食料・農業・農村基本法の25年ぶりの改正を受けた市基本計画の策定について

- ・ 本市の方向性をどう定めるか

2．土地改良法の改正案における農地中間管理事業について

- ・ 機構関連事業について、従前は県だけであったが新たに市が実施主体に追加されたことにより描くビジョンはあるか

3．中山間地域の振興について

- (1) 中山間地域を持つ本市においてもしっかりと情報収集を行い、積極的に取り組むべき
- (2) 山村振興法改正案が提出されると聞いている。二地域居住や棚田の活用がポイントとなるようだが、市の考えは
- (3) 中山間地域の支える、関わる、稼ぐの三つの政策をうまく使えないか

4．トレーニングファームの取組について

- ・ 集落単位、産地単位の取組を支援し、農村の活性化と新たな担い手の形をつくらないか

○ 田 中 耕太郎 議員（令和会）

・ 防災道の駅創設への市長の思いと展望について

- (1) 防災道の駅創設は、社会課題解決に対応し人流と物流のネットワーク形成や防災力向上に資する地方創生の源になると考える。市長の思いと展望を伺う
- (2) 本取組を一步前に進めるため多様な方々と整備推進準備会を立ち上げ、制度やインフラなどを設計するソーシャルデザインを構築してはどうか

○ 秋 元 貞 一 議員（令和会）

1．野遊びSDGs事業の今後の方向性について

- ・ 市長が考える今後の展開について

2．地方創生事業について

- ・ 国は地方創生2.0を起動した。今までの地方創生事業の効果とこれからの方向性について

○ 田 村 儀 光 議 員 （ 真 政 会 ）

1．市長選を振り返って

- ・ 市長がリーフレット等で示した学歴に今でも多くの市民が疑問を持っている。改めてその内容を問う

2．スタートアップピッチについて

- ・ スタートアップピッチを本市で実施する意義と、今後どのように進め本市の活性化につなげていくのか、市長の見解を

3．野遊びSDGs事業について

- ・ 今後の取組について

4．市道岩瀬線の整備について

- ・ 進捗状況と今後の予定は

5．道の駅について

- ・ 調査費をはじめ、関係費用を予算化すべき

○ 工 藤 賢 一 議員 （市民の風）

1．消費者米価とコメ供給の安定を図るため、大館産米の増産を図るとともに、ブランド力向上を

- (1) 消費者米価が急騰しており庶民の生活を直撃している。政府では14日に備蓄米放出を決定したが、生産量と流通量の乖離が指摘される中、米価安定を考慮するとコメは今後増産に向かうべきと考える。令和7年の大館産米の生産の目安を2.9%増と定めているが、さらなる増産が必要ではないか
- (2) 大館産米のブランド力アップのため、トップセールスを実施した成果の検証・報告を求めるとともに、今後の稼げる農業戦略における大館産米の展望について、市長の見解を伺う

2．学校部活動の地域移行に向けた進捗状況と今後の課題について

- ・ 学校部活動の地域移行については、部活動の地域移行に向けた実証事業などを通じて成果が明らかになりつつあるが、一方で地域格差、広域連携などの課題も見えてきた。地域移行の推進に当たっての教育長の見解を伺う

3．病院事業経営強化プランの進捗状況の評価と課題について

- ・ 今次定例会において扇田病院の病床数削減が提案されている。本提案は病院事業経営強化プラン既定の方針であるが、本案の是非を判断するためには強化プランの進捗状況の評価が欠かせない。病院事業管理者の見解を伺う

○ 伊 藤 深 雪 議員（公 明 党）

1．子育てと仕事を両立できるよう、市独自の取組を

- (1) 経済的支援として高校生までの医療費を無償にするべき
- (2) 希望する保育施設への入所が可能となるような取組をするべき

2．R S ウイルス感染症予防について

- ・ 肺炎を引き起こすR S ウイルス感染症を予防するため、注意喚起とワクチン接種の公費助成をするべき

○ 吉 田 勇一郎 議員（令和会）

1．予算編成について

- ・ 基本方針として「施策・事業の検証とスクラップ・アンド・ビルドの徹底による財源の確保」が掲げられているが、検証手法・判断基準に前市政と異なる点はあるか

2．医療における社会的処方について

- ・ 本市での取組状況は

3．職員の兼業について

- ・ おおだて未来づくりプランに許可基準の策定が記載されているが、どのように進めていくのか

○ 相 馬 エミ子 議員 （市民の風）

1．移住促進と企業誘致について

- ・ 徹底した無駄の削減により財源を生み出し、移住促進と企業誘致を積極的に進めるべき

2．少子高齢化対策について

- (1) 高齢者の健康維持の取組は
- (2) 少子高齢化対策の取組状況について

3．学校現場での働き方改革について

- (1) 教員の再任用の状況について
- (2) 学校現場での働き方改革について

4．下水道施設の維持管理について

- (1) 点検や対策について
- (2) 国の交付金で下水道管の修繕や更新ができないか

○ 明 石 宏 康 議員（真 政 会）

1．外国語活動支援員の減員について

- ・ 予定されている減員が半数と大きく、現場の負担増を懸念する

2．自殺予防とひきこもり等の支援について

- (1) 当事者の苦しみに寄り添える事業であってほしいと願うが、具体的な取組は
- (2) 社会に参画する意欲がある人に対し、考え得るあらゆる支援を講じてほしいが、市の考えは

○ 佐々木 公 司 議員 （ 令 和 会 ）

1．日本一若い市長の夢やロマンは

- ・ 市長に就任後、全国最年長首長の田舎館村の鈴木村長との対談で何を学び、何を感じたか

2．住みよい大館、住みたい大館を目指して

- ・ 石田市長の目指す具体的な目標値は立てられているのか

3．防災・減災対策の推進について

- (1) 今年は豪雪となったが、市の防災・減災対策はどうなっているのか
- (2) 特に高齢者の除排雪への対応はどうなっているのか

4．少子化・人口減少対策について

- (1) 大館市に来て住みたいという人への対応策は
- (2) 子育て日本一の町の事例は

5．有害鳥獣対策について

- (1) 市街地での銃の使用が可能になる方向だが、市はどう考えるか
- (2) 猟友会の高齢化への対応は

6．カラス対策

- ・ もっと突っ込んだカラス対策が必要ではないか

7．大規模山火事対応について

- ・ 大館市は戦後4度の大火で旧市内がほとんど延焼している。その対応策は

8．先人顕彰について

- ・ 大館出身の有名人が数多く存在する。横山助成、小西雪村など、その人たちを後世に残す方策として、廃校の利活用などで先人顕彰館や美術館などを創設してはどうか

○ 今 泉 まき子 議員 （日本共産党）

1．ヤングケアラー（家事や家族の世話などを日常的に行っている子供）の実態把握と今後の対応について

- (1) 市内のヤングケアラーについての実態調査は行われているか
- (2) 第2期大館市子ども未来応援計画への反映を
- (3) ヤングケアラーについての市民への周知と相談窓口の設置を

2．生活インフラについて

- ・ 上下水道などの維持管理のための点検や補修などは適切に行われているか

3．地域農業の再生について

- (1) 農業従事者、遊休農地、新規就農者のここ数年の状況はどうなっているか
- (2) 今こそ食料自給率の向上を
- (3) 農家の所得をしっかりと補償すること

○ 金 谷 真 弓 議 員 （ 真 政 会 ）

・ 有害鳥獣駆除活動について

- (1) 猟友会・市・警察が同じ認識を持って対応できるよう事前協議を重ねる必要があると思われるが、市の考えは
- (2) 市には野生動物の管理を担う専門的な職員の配置がない。部署・人材育成についてどのように考えているか

○ 伊 藤 励 議員（市民の風）

1．ラーケーション制度の導入について

- ・ 子供たちが家庭で学びを深める機会を増やすとともに、お祭りなど地域活動への参加を促し定住につなげられるよう、東北初の取組としてラーケーション制度を導入してはどうか

2．除雪や除草のサービスをふるさと納税の返礼品にしてはどうか

- ・ 市民の暮らしを支えながら財源確保につなげられるよう、民間企業と連携し除雪や除草のサービスをふるさと納税の返礼品にしてはどうか

3．行政協力員の廃止と経費削減について

- ・ 行政協力員の高齢化や担い手不足、業務負担を考慮し、広報などの配布を基本的には公共施設や病院、スーパーなどで自由に取りれる方式に変更し、経費削減を図ってはどうか